

ノーモア・ヒバクシャ通信 第8号

発行 2013年5月11日

ホームページ <http://www.kiokuisan.jp/>

ブログ

<http://tkf-forum2011.blog.ocn.ne.jp/hibakusha/>

発行者 ノーモア・ヒバクシャ記憶遺産を継承する会
〒102-0085

東京都千代田区六番町 15 プラザエフ 6F
Tel/Fax 03-5216-7757 (直通)

Email hironaga8689@gmail.com

郵便振替口座 00170-5-694752

(口座名義) ノーモア・ヒバクシャ記憶遺産基金

寒暖の差が激しい日々が続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。今年度最初の「通信」をお届けします。

★もくじ

I. 第3回資料センター検討委員会のご報告	P 1
II. 第3回理事会・臨時理事会のご報告	P 2
III. 原爆被害・運動関係の調査・研究	P 3
IV. 被爆体験継承のための企画	P 3
V. 資料の収集、整理の進行状況	P 4
VI. 第1回通常総会のご案内	P 5
VII. 継承ポータル開設に向けて～お願い～	P 6
VIII. 2013年度会費納入のお願い	P 6

I. 第3回資料センター検討委員会のご報告

4月6日(土)に第3回資料センター検討委員会を開催しました。下記の議題で議論を進めました。概要をご報告します。

(議題)

1. 資料収集の現状と課題について
2. 総会への中間報告を含む、今後のスケジュールについて

(概要報告)

「資料収集の現状と課題について」、栗原事務局員から資料収集作業グループの報告として、これまでの取り組みを詳しく説明しました。そのうち、原爆資料に関する情報交流、意見交換が多方面にわたって行われました。資料収集グループは主に被爆者運動(史)関連資料を対象を限定して取り組んでいます。

また、「今後のスケジュールについて」は、当初10月までに構想案をまとめる予定でしたが、可能ならば時期を早めて、8月をめざし作業を進めることとしました。6月の第4回

資料センター検討委員会では、資料センター構想の「webサイト」、基本構想案などが検討テーマになります。

なお、資料収集グループの「第3回資料センター検討委員会への報告」の要点は、次の通りです。

- (1) 資料収集作業の主な経過について
 - 1) 広島資料調査、2) 長崎資料調査、3) 大原社会問題研究所、4) 日本被団協（各県被団協）との協議・協力
- (2) 学習懇談会 宇吹暁氏の講演のポイント
 - 1) 目標は「悉皆」、実行は足元から、2) 現地保存主義
- (3) 資料収集作業グループの当面の収集・整理方針
日本被団協保管の資料の整理を先行させることによって、各県資料の何を保存し、何を廃棄してよいかが決まってくる。このままでは散逸するだけのところは、とにかく送ってもらって保管する必要がある。（以下、略）
- (4) 資料収集の現状について
 - 1) 日本被団協所蔵の運動関係資料（段ボール50箱分、昭和女子大・松田先生のご協力で整理していく。）
 - 2) その他、被爆者（運動）の資料収集状況【被爆者運動（史）関連 寄贈資料一覧】
 - 3) 各都道府県被団協の資料の現状（アンケート集約状況）
- (5) 資料収集作業からみた資料センター構想への要望
 - 1) 資料の整理、保管、閲覧のスペース
 - 2) 資料、整理、研究スタッフ
 - 3) 原爆資料、研究成果にかかわる広報・継承活動
 - 4) 被爆者の死と生をめぐる資料センター

II. 第3回理事会・臨時理事会のご報告

第3回理事会を3月23日、臨時理事会を4月27日に開催し、この会の一年間の取り組みを振り返り2013年度の事業を推進するために、総会議案、総会関連企画などについて、討議しました。

主に、次の諸点が確認されました。

1. 総会議案などを確認しました。

（審議事項）

第1号議案 2012年度事業報告承認の件

第2号議案 2012年度決算承認の件

第3号議案 役員選任の件

（報告事項）

1. 2013年度事業計画
2. 2013年度予算
2. 資料センター検討委員会との合同討議を行うことを確認しました。
3. 被爆70年に向け被爆者の皆さんへの「聞き取り」を進めるため、ノーモア・ヒバクシャ聞き取り実行委員会（仮称）を結成することを確認しました。

Ⅲ. 原爆被害・運動関係の調査・研究

2月23日（土）プラザエフ5F会議室で学習懇談会④「被爆70年の聞き取りのとりくみについて考え合う」を開催しました。

前半は濱谷正晴先生に「1977NGOシンポの一般調査の経験に学ぶ」として、全国1万人の被爆者を対象に数千人の調査員が参加した1977年NGO被爆問題シンポジウムの一般調査についての報告と被爆70周年に向けての問題提起をいただきました。後半は『被爆者調査を読む ヒロシマ・ナガサキの継承』（浜日出男、有末賢、竹村英樹編著、慶応義塾大学出版会、2013年間）に執筆した若手の研究者や、これまで地域で被爆証言の聞き取り活動を続けてきた受け継ぎ手、被爆者のみなさんが参加し、「被爆70年に向けて いま、何を語り、聞き取るのか」というテーマで討議を行い、取り組みの意味や共通の聞き取り項目の内容について一緒に考えました。

Ⅳ. 被爆体験継承のための企画

3月8日（金）プラザエフ5F会議室で第3回目の懇談会が19名の参加で開催されました。

岩佐代表理事の「戦争も核兵器の被害も知らない世代がほとんどを占めてきた。その人たちに核兵器の被害がくり返されてはならないということをどのようにして受けとめてもらうか、このことが継承のいちばんの課題だと思う。被爆者の声を聞くだけではなく、それをどのように受けとめ国民の間に広めていくか、世界へ訴えていくか、ということが大きな課題。オスロ会議に日本被団協の田中事務局長が参加したが、雰囲気は盛り上がってきている、変わってきている。そういう状況に合わせて、しっかり腰を据えて国連だけでなく世界に伝えていき大きな世論にしていきたい」という挨拶のあと、この間2回の懇談会、2月23日の学習懇談会④を受けて被爆70年に向けての継承の取り組みについて議論を進めました。

今回の懇談会では、被爆70年聞き取りの目的を、被爆者とその思いを受け継ごうとする人たちが語り合う場を数多くつくり、被爆者一人ひとりの声を「聞き取り」の形で集約し、次の世代や世界に継承する。そして、その声を2015年のNPT（核兵器不拡散条約）再検討会議に届けるなど、さまざまなステージにおいて活用し、核兵器廃絶への国際世論を高めることにも反映させる、とすることが話し合われました。

聞き取りの内容については、聞き取る項目についてはほぼ一致。質問項目は懇談会で出さ

れた意見をもとに、実際の聞き取りに際しては、被爆者が語りやすいよう、聞き方（表現）や順番など弾力的に扱うなど、一問一答の尋問調にならないよう留意すること、聞き取りマニュアルや事前の学習会の必要性についても話し合わせ、項目の確定も急がずに、試験的、先行的に実施したところの意見も入れながら、よりよいものにしていけばよいのではないか、という意見も出されました。

また、6月にこの取り組みを進めるための実行委員会を立ち上げる方向で関係団体と協議しながら調整し準備していくことが話し合われました。

懇談会、学習懇談会に参加してきた埼玉の被爆体験聞き書き行動実行委員会は、埼玉県原爆被害者協議会と話し合っ4月25日に共通の聞き取り項目をつかって初めての聞き取りを行いました。東京都高校生平和ゼミナール連絡会も6月に聞き取りを行う準備をしています。

IV. 資料収集・整理作業の進捗状況

1. 関連施設訪問 大原社会問題研究所

2月26日、町田市の法政大学大原社会問題研究所を訪問しました（吉田理事他3名）。戦前からの労働運動・社会運動関係資料の収集、整理の実績があり、その方法が参考になるだけでなく、今後、専門的な協力も望めそうです。書庫を見学させていただいたうえに、五十嵐仁教授、榎一江准教授より、資料の整理は、それをどのように使うか、研究のテーマにより優先順位を設けて行うこと。たやすくには整理できなくとも、そこに置いてあることが重要、など実践的な助言や、公的資金や民間基金の利用についてもアドバイスをいただくことができました。

2. 日本被団協所蔵の運動関係資料

1) ざっくりと内容を確認した段ボール約50箱分の運動資料の整理について、4月20日、昭和女子大・松田先生と打ち合わせ。愛宕山にある弁護士事務所を資料整理のために借用できるようになれば、5月中にも、学生さんたちの実習として整理作業を開始する見通しとなっています。

2) あわせて、運動初期の「被団協連絡」など劣化の著しい古い資料から、PDFファイル化の作業をすすめていくことになりました。

3. その他、被爆者（運動）の資料収集状況

1) 3月16日、「自分史つうしん ヒバクシャ～明日へつなぐ集い～」において、全240号の「つうしん」および寄せられた自分史作品や出版物など関連資料が継承する会に寄贈されました。

2) 被団協の創設期に理事をしておられた故・副島まちさんのご遺族より、保管資料を寄贈していただきました。日本被団協の事務所が東京に移る前の資料をもっておられる方は非常に限られています。1. の作業をすすめながら、欠落部分の資料について関係者に問い合わせ、寄贈をお願いしていきたいと考えています。

3) 阿佐谷の資料準備室での作業は、当面は寄贈者ごとのざっくりした目録づくり（段ボールの中に何があるのかの確認、整理）から始めていきます。集まってきた資料の整理をすすめながら、「通信」や会報などで貴重な資料を広く紹介できるようにしていきたいと考えています。

VI. 第1回通常総会のご案内

第1回通常総会

1. 日 時 2013年5月18日（土） 午後1時～2時45分
2. 会 場 東京四谷主婦会館プラザエフ 地下2階「クラルテ」
東京都千代田区六番町15 TEL 03-3265-8111

3. 議 題

（審議事項）

- 第1号議案 2012年度事業報告承認の件
- 第2号議案 2012年度決算承認の件
- 第3号議案 役員選任の件

（報告事項）

1. 2013年度事業計画
2. 2013年度予算

※定款により、事業報告・決算は総会議決事項に、事業計画・予算は理事会議決事項です。

総会関連企画

総会終了後に、ドキュメンタリー映画「もし、この地球を愛するなら」を上映します。

（1981年制作：カナダ国立制作庁、26分、カラー）

今から30年以上前の作品ですが、医学博士ヘレン・カルデコットの講演は現在の我々に鋭く迫ります。総会に引き続いて、ご鑑賞くださいますようご案内いたします。

1. 日 時 2013年5月18日（土） 午後3時～3時50分
2. 会 場 東京四谷主婦会館プラザエフ 地下2階「クラルテ」
3. 参加費 無料

なお、議決権を持つのは正会員のみとなっております。正会員のみなさまには別途、ご案内と議案をお送りいたしました。

VII. 継承ポータル開設に向けて

web サイト上で全国各地の「継承」活動につながりを作り出すためのポータルサイトを開設する準備を進めています。被爆体験を伝えたい被爆者・被爆者団体と、それを受け継ぐ取り組みを進めている個人・団体の情報を、誰でもがアクセスできるデータベース化することで、つながりを作り出していきたいと考えています。

6月の本公開の予定で準備を進めていますが、継承ポータルで紹介する受け継ぎ手については今のところ5グループ、団体程度しか情報がありません。継承ポータルは被爆者と受け継ぎ手を結ぶだけでなく、受け継ぎ手と受け継ぎ手を結び付けること、そして被爆者の話を聞いてみたい、地域で継承の取り組みを進めてみたいけれどひとりでは、というときに一緒に取り組める仲間を探すことができるようにすることも目的としています。地域でのそうした取り組みの情報がございましたらメールまたはFAXで事務局までお寄せください。

また、ブログ、HP、継承ポータルの企画・運営、学習懇談会などに参加して記事を書いてくださる方、「通信」の体裁や編集をお手伝いいただける方などボランティアでご協力いただける方がいらっしゃいましたら事務局までご連絡ください。

VIII. 2013年度会費納入のお願い

会費の振込用紙を同封させていただきました。すでにお納めいただいているみなさまには振込用紙は入っておりません。ご送金と前後した場合はお許しください。

領収証が必要な方はご連絡下さい。領収証をお送りいたします。

よろしく願いいたします。

以上